

# 受賞おめでとうございます

## 農業委員会委員で農業発展に尽力 為房英雄さん（68歳・牛窓町鹿忍）

為房英雄さんが、農業委員会委員として永年にわたり農業の発展と、農業者の地位の向上に寄与した功績で、農林水産大臣表彰を受賞しました。

為房さんは、昭和47年10月から昭和59年10月の12年と、昭和62年10月から現在の19年の通算31年間、農業委員会の委員として、その職務に尽力しました。



昭和31年から野菜生産の農業に従事。その当時は休耕農地もあまりなく、ジャガイモやハクサイの段々畑が多く見られました。しかし、農業者の高齢化と後継者不足から、休耕農地や荒廃地ができ、その将来を危惧するようになりました。

委員になってから、農道の整備や、荒廃地を基盤整備し、農業のしやすい環境づくりに力を注ぎました。

「役を受けた以上は、その責務をまっとうしたい」と話す為房さん。現在もこれからの農業について真剣に考える姿に、責任感の強さを感じます。

## 乳牛の部で農林水産大臣賞受賞 原野末廣さん（65歳・牛窓町長浜）

10月8日、第62回岡山県畜産共進会が真庭市草加部の全農岡山県本部総合家畜市場で行われ、乳牛の部で、原野末廣さんの「ユリアナブルーナ号」が、農林水産大臣賞（グランドチャンピオン賞）を受賞しました。

当日は、県内各地から農家の皆さんが丹精込めて育てた肉牛67頭、乳牛108



原野末廣さん（左）

頭が出場。グランドチャンピオンを目指し、月齢ごと13部門に分かれ、発育状態や品位、体型のバランスなどの細かい審査を受けました。

乳牛の部の最終審査で、原野末廣さんのホルスタイン種でトップの「ユリアナブルーナ号」と、ジャージー種でトップ（昨年栃木県で行われた全日本ホルスタイン・ジャージー共進会で日本一）になった牛が競い、見事グランドチャンピオンになりました。

原野さんは、昭和43年に就農。受精卵移植や環境保全に取り組んできました。受賞した牛は、餌の濃厚飼料を少なく粗飼料を多めにしたり、朝夕の搾乳前に引き運動をして太り過ぎないようにしたりして、気をつけながら育てました。

「後継者の息子と子牛が親子でグランドチャンピオンを取れるよう応援していきたい」と原野さんは、抱負を語っていました。

## 消防ホームページが最優秀賞



第9回全国消防広報コンクールが行われ、瀬戸内市消防本部がホームページ部門で最優秀賞を受賞しました。

消防本部のホームページは、見やすいレイアウトで、リアルタイムな記事や幅広い情報を掲載しています。

また、ビデオコーナーでは、いろいろな活動業務を動画で見ることが出来ます。

12月7日、総務省の消防庁長官から表彰を受けました。

これからも、新鮮な情報を、市内外に向け発信していきます。

## ノリの共進会で農林水産大臣賞受賞 廣田和雄さん（56歳・牛窓町鹿忍）



ノリ養殖をしている廣田和雄さんが、第31回岡山県海苔共進会で、農林水産大臣賞を受賞しました。

海苔共進会は、秋に採れた一番良いノリで、つや、焼き色、香り、味などを品評します。今回、廣田さんが養殖したノリが、岡山県で一番となりました。

良いノリは、窒素やリン酸など海の栄養分が多くある海水で育ちます。海にその栄養分を運んできてくれるのが、川の水。山の腐葉土がしみた雨水が川に流れ、

「ノリ養殖には、適度な雨や気温など気象の影響は大きく、毎々が1年生です」とサラリーマンからノリ養殖業に転職して10年の廣田さん。

「牛窓は、地理的には良い漁場とは言えないが、岡山で一番のノリができ、この地域の関係者の励みになります。牛窓のノリのイメージアップにもつながります」と喜びを話していました。

## 邑久B&G海洋センターが優良センターで受賞

邑久B&G海洋センターが、全国480カ所ある海洋センターの中で、特に優良なセンターとして選ばれ、ブルーシー・アランド・グリーンランド財団から表彰を受けました。

優良海洋センターは、スポーツ・健康・人づくりの拠点として活用されている、全国海洋センターの模範となるもので、全国で15センター。

11月14日、第2回B&G全国サミットの席上で、表彰されました。

同センターは、次代を担う子どもたちの心と体の育成や地域住民の皆さんの健



康づくりのために、これからもさまざまな活動を実施していきます。

## 邑久町公民館が優良公民館表彰受賞

邑久町公民館が、全国17,947公民館の中から選ばれた59の優良公民館として表彰されました。

同公民館の特色ある事業内容は、こうこうネットワーク事業の実践。隣接する邑久高校と邑久町公民館が協力し、学校教育や社会教育の力と作用を生かしながら、人づくりや地域づくりにおける協働の仕組みづくりを行っています。

そして、ボランティアで活動する高校生を支援し、高校生や市民がより活気づくよう、全学的な広がりを目指しています。

同公民館は、昭和63年度に、人形劇のまちづくりの取り組みが認められ、一度優良表彰を受賞していますが、今回が2度目の受賞となります。

松井一彦公民館長は、「これも市民の皆さんの熱心な取り組みの成果だと思いません。今後も、市民の皆さんの人づくり、地域づくりにつながる学習活動を支援できるよう、また、その輪が相乗効果を生み出すような公民館運営を目指していきます」と話していました。



邑久町公民館の皆さん